

令和5年度

第1回進路説明会資料



渋谷区立鉢山中学校

氏名

令和5年7月1日(土)

1. 進路選択にあたって

(1) 「進路」をどう考えるか

高校進学か？就職か？

将来の夢、なりたい職業がある場合、どのような進路を選ぶ必要があるのか考えましょう。弁護士や医師、教員などは国家試験や採用試験に合格する必要があるため、大学や大学院に進むことが必要です。希望する会社に入るためには大学卒業の資格が必要になるかもしれません。工業高校や高等専門学校で技能を学び、資格試験に合格することが条件になるかもしれません。専門的知識があったほうが給与などの待遇がよいということもあります。普通科の高校から大学や専門学校に行くのか、工業系、農業系などの高校から専門的知識を生かした就職先や進学先を見つけていくのか、考える必要がでてくると思います。将来の夢がはっきりしなくても、自分の興味関心、特性に合わせて進学先を考えましょう。

「進路」＝「どの学校を受験するか」だけではありません。本来「進路」とは、「自分の人生をどのように切り拓くか」ということです。したがって、将来就きたい職業や自分の「生き方」をふまえて、自ら進路先を選択していきましょう。

ポイント！

- ①個性・適性・興味・関心を考えて
- ②希望する職業との関係
- ③自分の能力に合ったところで考える

(2) よりよい進路選択のために

進路選択は、最終的には自分自身で進路を切り拓いていくことになります。しかし、そのためには、家庭と学校が共に手を携えていくことが大切です。

☆家庭にお願いしたいこと☆

①家庭で十分な話し合いを

本人が納得しなければ良い結果は生まれません。将来のことまで視野に入れご家庭でじっくり話し合ってください。また、本人はもちろん保護者の方も志望する学校の説明会等に参加して、十分に納得してから決定してください。

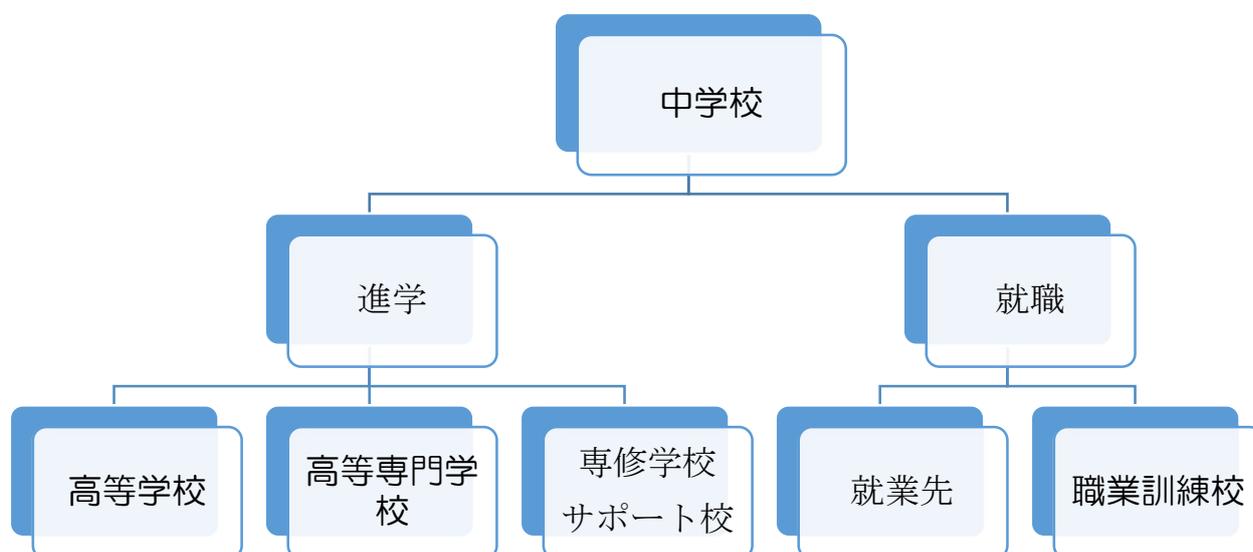
②最終的な進路選択は本人の思いを十分取り入れて

進路選択の主役は、生徒本人です。自分が選んだことへの自覚と責任がもてるように、本人にしっかりと考えさせ、決断させてください。そして、自分の進路に誇りと愛着をもてるようにしてください。

③生活リズムを整えさせてください

「受験生だから」といって特別扱いする必要ありません。十分な睡眠をとり、三食きちんと食べてバランスよく栄養を摂取し、朝型の生活リズムを確立させてください。入学試験の多くは朝から行われます。また心が不安定になる時期でもあります。気分転換も大切です。より多くの励ましの声かけなどで支えてください。

2. 中学校卒業後の進路



(1) 進学

生徒一人一人の能力や特性、興味・関心、進路希望等に応じて学ぶことができるよう多様なタイプの学校が開設されています。何を重要視するのか、保護者とよく話し合しましょう。

- ① 興味のあることを学べるか。
- ② 高校卒業後の進路が自分の希望と結びつくか。
- ③ 自分の良いところ、得意なことを伸ばせるか。
- ④ 校風が自分に合っているか。
- ⑤ 通学に適した場所にあるか。
- ⑥ 参加したい部活動があるか。

①高等学校 全日制と定時制、通信制

全日制…中学同様、朝8時30分頃に登校し、1日6～7時間程度の授業を行います。

定時制…夜間、または午前や午後に学習時間を絞り、通常4年で卒業する学校です。昼夜間定時制もあり、例えば3部に入学しても2部の授業を取ることで、3年間で卒業できる定時制もあります。多くの人は仕事をしながら高校に通っています。

通信制…通信を利用した自宅学習や、スクーリング（期間を決めて実際に高校に行って授業

を受けたり試験を受けたりすること)によって学習していきます。
上記の学校は、卒業と同時に高等学校卒業の資格が得られます。

○定時制や通信制の厳しさ

受験勉強したくないから、合格の可能性だけしか考えずに定時制や通信制を選ぶ人がいます。しかし、定時制や通信制は、自分に甘い人には向いていません。仕事・アルバイトと高校の学習を両立させるということは、全日制の高校生の2倍の体力、気力が必要ということなのです。さらに通信制は、何をいつ勉強するのか、すべてを自分が考えなければなりません。卒業するためには、自分に厳しくなければなりません。

②公立か？私立か？

公立高校…国や都道府県が設置した高校です。都立高校の多くは普通科ですが、工業・農業・商業・芸術学科の他、家庭に関する学科、福祉に関する学科、総合学科、科学技術高校、産業高校、エンカレッジスクール、チャレンジスクール、などがあります。特色ある教育活動を行ったり、多様な専門学科を設置したりする学校が増えてきています。東京都の学校に関しては、「令和6年度（2024年度）東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」を参考にしてください。

- ※ エンカレッジスクール・・・小・中学校で十分能力を発揮できなかった生徒のやる気を育て、頑張りを励まし、応援する学校。基礎・基本を徹底するとともに体験学習を重視。
- ※ チャレンジスクール・・・小・中学校時代に不登校経験を持つ生徒等を主に受け入れる総合学科・三部制(午前部・午後部・夜間部)の高校で、他部履修により3年での卒業も可能とする。

私立高校…学校法人が設置した高校で、それぞれ建学の精神を持ち、独自性の高い教育を行っています。教育方針が明確で、生活指導も厳しい学校がほとんどです。宗教団体が設置した学校や、中高大一貫教育を行う学校、男女別の学校、などがあります。収入により就学援助金が支給されますが、都立高校に比べて納入金が高額となります。

多くの私立高校は、特進クラスなどを設置し、大学進学に力を入れてきています。さらに、私立高校では、特待制度を設けている学校があります。授業料などが全額または半額免除されるので、かなり負担が軽減されます。（制度や認定基準は、高校ごとに異なります。）以上のことを踏まえながら、私立高校の推薦・併願を考えてください。

- ※「私立高等学校特別奨学金」が利用できる場合、授業料が実質無償になります。
- ※推薦、併願を希望する場合は、各高校と事前に個別相談をする必要があります。

国公立高校と私立高校の違い（令和5年度の数字です）

相違点	国立	都立	私立
特徴	国立大学付属の研究・実験校	地方公共団体が設置	学校法人が設置、宗教教育も可
受験料	9,800円	2,200円	2万円～3万円
入学金	56,400円	5,650円	平均253,113円
授業料	115,200円	118,800円	平均483,311円
推薦入試	実施せず	調査書点+集団討論+面接等	内申点+面接等
一般入試	学力検査+面接	調査書点+学力検査	学力検査+面接

③高等専門学校

修業年限5年の工業に関して高度な専門教育を行う学校です。卒業後は、短大卒と同等の資格が与えられ、大学3年に編入する事も可能です。現在、都内に国立1校、都立1校、私立1校あります。

④高等専修学校

専修学校は、社会に出て働くために必要な技術や知識を身に付けることを目的とした学校です。このうち中学を卒業してすぐに進める高等課程がある学校が高等専修学校と呼ばれるものです。選考方法は学校によって異なり、筆記試験を行うこともあれば、書類審査と面接だけのところもあります。修業年限は学科によって1年制から5年制までいろいろなコースがあります。高等課程の3年制を卒業すると、専門課程（専門学校）に入学することもできますし、大学入学資格付与の指定を受けている学校では、卒業と同時に大学受験資格が得られます。

⑤サポート校

通信制高校で課題として出されるレポートを自分だけの力では仕上げるできない人のために、それを手助けしてくれる学校がいわゆる「サポート校」です。“〇〇高校提携”とある学校がそれにあたります。「サポート校」は、わかりやすく言うと「塾」のようなものなので、「サポート校」だけを卒業しても高校卒業資格はもらえません。

通信制高校も「サポート校」も、ここ最近増えています。名称が変更された学校や、「サポート校」から高等学校として認可された学校も少なくありません。学校の説明会、パンフレット、ホームページなどでその学校がどちらの学校なのかを確認する必要があります。

(2) 就職

希望があれば、公共職業安定所（ハローワーク）と連携をとりながら、よりよい職場探しの手伝いをします。希望する人は早めに学校に申し出てください。

また、企業内学校（都内では日野工業高等学園のみ）があります。企業内学校は、その企業に就職する形をとりながら通信制高校と技能連携して学習し、3年で高校卒業資格が得られるところです。

その他に、都立職業能力開発センターで、就職に向けて必要な知識・技能を学ぶための職業訓練を実施しています。科目によって6か月から1年の授業を受けます。

- | | |
|----|---------------------|
| 日程 | 10月…求人一覧表が学校に届く。 |
| | 12月…志望先を決め、応募書類を記入。 |
| | 1月…就職統一選考 |

3. 高等学校の入試

(1) 都立高校入試制度(令和6年度入学選抜の日程)

① 推薦入試

ア 一般推薦

中学校長の推薦を受けた生徒が出願できます。

高校から示された評定による出願基準はありません。

選抜方法

- ・観点別学習状況の評価(A・B・C)または評定(5・4・3・2・1)のどちらかを高校が選び点数化して、調査書点とする。
- ・面接、作文、小論文、集団討論、実技検査などが課される。
- ・自己PRカードは点数化しないが、総合判断で使用される。

イ 文化スポーツ等特別推薦

実施する高校は限られており、実施する種目も各高校が定めています。種目ごとに推薦基準があります。文化スポーツ等特別推薦に出願した生徒は同時に同じ高校の一般推薦にも出願できます。

日程

入学願書受付日	令和6年1月12日(金)～1月18日(木)
実施日	令和6年1月26日(金)・27日(土)
合格発表日	令和6年2月 2日(金)

② 一般入試(第一次募集・分割前期募集 / 分割後期募集・第二次募集)

選抜方法

- ・5科の学力検査
- ・調査書点
- ・ESAT-J(中学校英語スピーキングテスト)点の得点
- ・面接、作文、小論文、実技検査などが課される学校もある。

※p. 12 「調査書」を参照

一次募集・分割前期日程

入学願書受付日	令和6年1月31日(水)～2月6日(火)
実施日	令和6年2月21日(水)
合格発表日	令和6年3月1日(金)

分割後期・二次募集日程

入学願書受付日	令和6年3月6日(水)
実施日	令和6年3月9日(土)
合格発表日	令和6年3月14日(木)

定時制二次募集日程

入学願書受付日	令和6年3月21日(木)
実施日	令和6年3月26日(火)
合格発表日	令和6年3月27日(水)

(2) 調査書

調査書は、都立高校では全て共通の様式を使います。私立高校はそれぞれの学校で独自の形式内容のものが多いようです。調査書で特に重要視されるのは各教科の評価評定です。受験で使う評定を「内申」と呼ぶこともあります。都立の調査書は、第3学年4月から12月までの学習状況を評価した評定となります。私立の調査書は、第3学年4月から12月までの学習状況を評価した評定の他、第1学年・第2学年の通知表の学年成績を記載する学校もあります。

(3) 都立入試の総合得点の算出について

学力検査に基づく入試では、評定を調査書点として点数化します。

$$\text{総合得点 (1020 点)} = \text{学力検査の得点 (700 点)} + \text{調査書点 (300 点)} + \text{ESAT-J 点 (20 点)}$$

- 調査書点は、次の表のとおり、学力検査を実施する教科の評定を1倍、学力検査を実施しない教科の評定を2倍して、算出します。この数値のことを換算内申と言います。

学力検査の教科	1倍	2倍	満点
国・数・英・社・理	国・数・英・社・理	音・美・保体・技家	65点
国・数・英	国・数・英	社・理・音・美・保体・技家	75点

注) 評定の満点はオール5である場合。

- 以下の東京花子さんの例で調査書点の点数化について説明します。

(例) 東京花子さんの各教科の評定

国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語
5	4	3	3	3	4	5	3	5

- ① 学力検査を5教科(国・数・英・社・理)、学力検査の得点と調査書点の比率を「7:3」で実施する学校の場合

- ・学力検査の得点と調査書点の比率が「7:3」の場合、調査書点の満点は300点となります。
- ・学力検査を実施する教科(国・数・英・社・理)の評定の合計は、 $5 + 3 + 5 + 4 + 3 = 20$ 点・学力検査を実施しない教科(音・美・保体・技家)の評定の合計は、 $(3 + 4 + 5 + 3) \times 2 = 30$ 点 これらを足すと、 $20 + 30 = 50$ 点となります。このため、東京花子さんの調査書点は、 $300 \text{点} \times 50 \text{点} \div 65 \text{点 (評定の満点)} = 230 \text{点}$ となります。※小数点以下切り捨て

$$\text{調査書点 (300 点満点)} + \text{学力検査得点 (700 点満点)} = 1000 \text{ 点満点}$$

$$\text{調査書点} : \boxed{\text{換算内申} \times 300 \div 65} \quad (\text{小数点以下切り捨て})$$

$$\text{学力検査得点} : \boxed{\text{当日の得点} \times 700 \div 500} \quad (\text{小数点以下切り捨て})$$

② 学力検査を3教科（国・数・英）、学力検査の得点と調査書点の比率を「6：4」で実施する学校の場合

- ・学力検査の得点と調査書点の比率が「6：4」の場合、調査書点の満点は400点となります。
- ・学力検査を実施する教科（国・数・英）の評定の合計は、 $5 + 3 + 5 = 13$ 点
- ・学力検査を実施しない教科（社・理・音・美・保体・技家）の評定の合計は、 $(4 + 3 + 3 + 4 + 5 + 3) \times 2 = 44$ 点これらを足すと、 13 点 $+44$ 点 $=57$ 点となります。
- ・このため、東京花子さんの調査書点は、 400 点 $\times 57$ 点 $\div 75$ 点（評定の満点） $=304$ 点となります。

※小数点以下切り捨て

調査書点（400点満点）+学力検査得点（600点満点）=1000点満点

調査書点： $\boxed{\text{換算内申} \times 400 \div 75}$ （小数点以下切り捨て）

学力検査得点： $\boxed{\text{当日の得点} \times 600 \div 300}$ （小数点以下切り捨て）

学力検査に基づく入試（第一次募集・第二次募集・分割募集）では、上記のとおり、評定を調査書点として点数化しますが、エンカレッジスクールでは、各教科の観点別学習状況の評価を用いて調査書点を算出します。

（4） ESAT-J 点の活用について

令和5年11月26日（日）実施、令和5年12月17日（日）予備日

2-2 ESAT-Jの設計 ①

ESAT-J Can-Do Statements 「英語を使ってできること」

CEFR	ESAT-J GRADE	得点域	トピック	行動	内容	表現の構成
A2	A	80～100	身近な話題	意見交換ができる	まとまりのある内容を話す 自分の考えや理由、具体例を話す	順序立てて分かりやすく伝えることができる
A1	B	65～79	相手や自分のこと	質問したり、質問に答えたりすることができる	自分の考えと理由を具体的に話す	文を組み立てながら、複数の文を使って話す
	C	50～64	自分のこと	話しかけたり、質問に答えたりすることができる	自分の考えと理由を話す	文を組み立てながら話す
	D	35～49	自分のこと	質問に答える	自分の考えを話す	定型表現や簡単な単語を用いる
A1 未満	E	1～34	自分のこと	質問に答える	自分のことを話す	定型表現や基本的な単語を用いる
	F	0	話そうとしても伝わらないことが多い			

11

中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の結果をA～Fの6段階で表し、20点満点で換算する。（一次募集・分割前期募集において活用）

A		20点
B		16点
C		12点
D		8点
E		4点
F		0点

学力検査の得点と調査書点に ESAT-J 点を加算し、総合得点を 1020 点満点とします。
 詳しくは東京都教育委員会の HP 【特設ページ】 中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J)
 をご参照ください。

(5) 私立高校入試制度

① 推薦入試 (単願推薦などの名称)

受験する学校が第一志望であり、合格したら必ず入学することを前提として出願します。

学校独自の基準があり、それを満たしている生徒が出願できます。

また、中学校長の推薦を受けていることが条件です。

個別相談・入試相談とは

・個別相談 (対象：生徒・保護者)

高校の受験担当の先生と、受験コースや入学後にかかる費用、部活動や高校生活について、合格の可能性など、さまざまなアドバイスを個別に受け、相談にのってもらうシステム。

・入試相談 (対象：中学校の教員)

私立高校と中学校の先生が、受験を希望する生徒について、その学校の基準に達しているか等を確認する場です。(12月15日～)

入試相談前に本人対象の個別相談を受け、中学校に報告することが必要です。入試相談後は受験先を変えることはできません。

② 一般入試

ア、併願優遇

主に公立高校との併願者を対象に、第一志望校不合格の場合、その私立高校に入学することを条件に優遇措置が取られます。併願優遇にも高校が定めた基準があります。推薦入試と同じく入試相談があり、その前に本人対象の個別相談を受けることが必要です。

イ、一般入試

推薦、併願優遇などの制度を利用しないで受験する場合などは一般入試で受験します。

私立高校の入試制度は、学校によって多種多様化しています。募集要項を確認しましょう。また学校説明会などで高校の先生と直接会って話しましょう。制度の説明のほか、受験のアドバイスなどももらえます。

推薦、併願優遇の制度を利用する場合は、個別相談が必要です。

4. 高校訪問等

高校を知るには、関心のある高校に出かけることが一番大切です。高校のホームページで最新の情報を確認して下さい。

学校説明会・個別相談会の予約・申し込みは、原則として個人で行っていただきますが、中学校申込みの場合は、学校で一括して申し込むので、お知らせください。

参加するときの注意

- ・鉢山中学校の標準服で参加します。(高校が指定した服装がある場合はそれに従う。)
- ・公共の交通機関を使います。自転車で行ってはいけません。
- ・見学会、説明会では高校側もみなさんを見ています。第1回の面接に行くつもりで参加しましょう。言葉遣い、服装、行動などに注意を払いましょう。
- ・見学会、説明会には、保護者と一緒に参加しましょう。
- ・私立高校の個別相談の際は、通知表、最新の模擬試験の結果を持って行きましょう。
- ・直前になったら、ホームページで時程等詳細を確認しておきましょう。
- ・参加申し込みをした場合、欠席・遅刻する時は必ず高校に事前に連絡を入れてください。
- ・登校日の土曜に学校見学会等に参加する場合は、中学校は欠席扱いになります。その日しか実施しない内容で、そこに参加しなければ推薦などに影響がある等の場合は相談してください。中学校で判断します。

～ 基本的な持ち物 ～

筆記用具、生徒証、交通費、時計、ハンカチ、ティッシュ、(通知表など成績のわかるもの)

5. 奨学金制度

都内在住で、私立高等学校等に通う生徒の保護者の方の経済的負担を軽減するために、授業料の一部を助成する制度等です。詳しくは、公益財団法人「東京都私学財団」のホームページ等をご確認ください。奨学金には、給付型、貸付型の2種類があります。学校にきている奨学金のご案内については、学級通信等で、随時お知らせいたします。ご家庭でご検討いただき、必要な場合には、担任までお申し出ください。

制度名	相談・申込窓口	備考
東京都育英資金（注）	東京都私学財団 03-5206-7929	書類は鉢山中にあります 9/22締切
入学支度金貸付制度	東京都私学財団 03-5206-7929	
あしなが奨学金	あしなが育英会 0120-77-8565または03-3221-0888	書類は鉢山中にあります 9/1～12/15
交通遺児育英奨学金	交通遺児育英会 0120-52-1286または03-3556-0773	書類は鉢山中にあります R6年1/31締切
受験生チャレンジ支援 貸付事業	渋谷区社会福祉協議会 03-5457-2200	学習塾や受験料の貸付
渋谷区奨学金	渋谷区教育委員会 学務課学事係	詳細は後日お知らせします

6. 第1回進路希望調査について

卒業後の進路について、ご家庭で話し合ってお記入の上、7月5日（水）までにご提出ください。個人面談の資料となります。

R5年度 受験（検）関連の今後の流れ

月	日	学校行事	都立高校	私立高校	生徒の動き		
7月	1日	第1回進路説明会			・進路決定に必要な知識を学ぶ。		
	6日		ESAT-J申し込みマニュアル配布				
	7日～13日	個別面談			・志望校について担任と相談する。		
	6日～20日		ESAT-J申し込み(各家庭で)				
	21日	夏季休業日始					
8月	29日	夏季休業日終					
9月	13～15日	前期期末考査	学校説明会・個別相談会 予約が必要な学校が増えていきます。 HPなどで情報を集めてください。		・学校説明会に参加し、自分に合った学校を探す。 ・個別相談会で、 通知表(2年生の学年末) 、外部模試の結果などを基に、単願推薦・併願優遇をとれるか、 高校の先生と相談 する。		
	25日	生徒会役員選挙					
	29日	中学校陸上競技大会					
10月	2日	第2回進路説明会					・進路決定に必要な手続きなどを学ぶ。
	4日	前期終業式					・学校説明会に参加し、自分に合った学校を探す。 ・個別相談会で、 通知表(3年生の前期) 、外部模試の結果などを基に、単願推薦・併願優遇をとれるか、 高校の先生と相談 する。
	5日	連合音楽会					
	5～9日	秋季休業日					
	10日	後期始業式					
	20日	第2回進路希望調査締め切り					
28日	さみどり祭						
11月	10/31～11/10日	個別面談			・ 学校説明会・個別相談の結果を基に、受験する学校を相談 する。私立単願推薦を志望する場合は、この段階である程度確定させる。		
	14日	領域診断テスト②		個別相談	・志望校決定のために学力を把握する。		
			中旬 ESAT-J 受検票配布		・面接練習開始		
	15～17日	後期中間考査			・調査書点を左右する重要な定期考査。		
	20日	第3回進路希望調査締め切り					
	26日			ESAT-J受検	・都立高校の一般入試に加算される。		
12月	11/30～12/8日	個別面談			・自己PRカードの下書きを開始する。		
	15～16日			入試相談	・ 私立単願推薦・併願優遇を受験 する生徒は、 受験校を決定 する。		
	26日	冬季休業日始			・ 私立一般入試の受験校を決定 する。 ・ 都立高校の推薦入試 を希望する場合は、 受験校を決定 する。 ・インターネット出願（必要項目の入力など）の準備をする。		
1月	8日	冬季休業日終			・ 都立高校一次・前期の受験校を決定 する。		
	9日	全校集会					
	12～18日		推薦入試出願				
	15日			単願推薦出願			
	22～23日			単願推薦入試・発表			
	25日			併願優遇・一般入試出願			
26～27日		推薦入試					
2月	1/31～2/6日		一次・前期出願		・都立推薦不合格で、一般入試を希望する場合はすくに出願する。		
	2日		推薦入試合格発表				
	10～12日			併願優遇・一般入試			
	21日		一次・前期入試				
	26・27日	後期期末考査			・入学手続きを、いつ・誰が行うか確認しておく。		
3月	1日		一次・前期発表				
	6日		後期・二次出願				
	9日		後期・二次入試				
	14日		後期・二次発表				
	19日	卒業式				・義務教育修了。それぞれの道へ！	

※都立高校の入試日程は、現在発表されているものです。今後の状況により変化する可能性があります。

※私立高校の入試日程は、令和5年度入試のものを基に記載しています。

※1・2年生のスピーキングテストは、1～3月に実施予定。